

# 第4学年国語科学習指導案

日 時:平成17年10月11日(火)第3校時

場 所:4年生教室

授業者:広瀬 浩一

1. 単元名 本の世界を広げよう  
教材名 白いぼうし

## 2. 指導の立場

### (1) 単元について

本単元は、以下の学習指導要領の領域の目標と内容を具現する学習内容である。

#### 【C読むこと】

・目標目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

【内容】 ア いろいろな読み物に興味を持ち、読むこと。

ウ 場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読むこと。

「白いぼうし」は、作者あまきみこの「くるまのいろは空のいろ」シリーズの中の物語の一つである。ファンタジー要素を多分に含み、また、香りや色合いに関する表現も豊かな作品である。豊かな表現を味わったり、登場人物について考えを交流したり、不思議な出来事について話し合ったりと、様々な面から読み深めていくことができる。児童は、想像力を働かせて、このファンタジーの世界をおおいに楽しむことだろう。ここでは、松井さんの優しい心とそれを包み込む温かく豊かな表現を十分味わいながら作品を読み、シリーズものをはじめ様々の本に出会い、児童の興味がさらに大きな本の世界へと広がっていくような展開にしていきたい。シリーズ作品を紹介したり、本を読む時間を作ったり、友だち同士でおもしろかった本を紹介し合うなど、本と出会う場を計画的に設定し、本を読むという意欲につなげたい。この単元だけではなく、学習を終えてからも子どもたちの読書が広がるような活動を継続して取り入れていこうと考えている。

### (2) 教材設定の理由

本教材では、想像する力や読みの力を高めたいと考えている。まず、松井さんの心情や人物像を中心に、読みを進めていくようにする。言葉にこだわって繰り返し読ませ、松井さんの言動や様子、情景を表す言葉に着目させる。そして、その言葉や文から、自分なりに松井さんの心情や人柄を考えさせるよう指導していきたい。また、各場面での中心となるような言葉や文については、教師側からも提示していくなど工夫をして、読みを深めさせたい。

### (3) 児童の実態（男子6名、女子3名 合計9名）

#### ①話す

人前で話をするのが苦手な児童が多く、1学期から特定の子どもだけでなく、どの子も話す機会が得られるようにしてきた。その結果、少しずつではあるが、人前で話すことへの抵抗感は薄れてきている。自分の意見を述べることに留まっており、他人の考えと比較して自分の意見を言うように段階的に指導していきたい。

#### ②聞く

1学期始め、教師、仲間の話を聞けない姿がやや見られたが、話始めから話終わりまで聞くことを徹底して繰り返すことにより改善されつつある。静かに聞いていても、話の内容を理解しながら聞けていない児童もあり、個に合った指導を繰り返している。

#### ③読む

物語における登場人物の気持ちを文章や言葉に拘って読みとることは初めてであり、事前の実態調査で、殆ど書けない児童が数名いた。読み取りの手引きを用意し、事前練習を行い本時に臨ませたい。

#### ④話し合う

授業パターンに慣れた道徳などでは、なんとか話し合いができるが、どうしても自分の考え、思いを発表することだけに留まりがちである。自分だけでなく仲間の考え、思いと比較して、付け足し、質問、反対意見が言えるように指導していきたい。

## 3. 研究テーマに関わって

### (1) 研究主題・・・『自分の思いや考えを仲間の中で豊かに表現できる子の育成』

仲間の中で豊かに表現するためには、自分の思いや考えがなければならない。今回の授業

実践では、自分の思い、考えづくりに重きを置いた。

(2) 中学年願う子どもの姿・・・「お互いの思いを大切にし、進んで話し合える子」

(3) 仮説

- ①ねらいや評価規準を明確にした指導計画を作成して毎時間の授業に臨めば、授業で大事にしなければならぬことがはっきりし、評価も明確になり、自分の思いや考えを仲間に表現する力が豊かになるだろう。
- ②子ども一人ひとりの意識や実態をとらえて、個々への指導の手だてを明確にし、個に応じた指導を重ねることによって、一人ひとりの「話すこと・聞くこと」の基礎基本の力を培い、自分の思いや考えを豊かに表現し、仲間と練り合うことができるだろう。
- ③学んだことを全教育活動の場で、繰り返し経験することにより、生きて働く表現力を高めることができるだろう。

(4) 研究内容

①ねらいや評価規準を明確にした指導計画の作成・・・ねらいや評価規準を明確にした指導計画  
 単元指導計画の中に「ねらい→学習活動→評価規準→評価方法」を一貫化させた。

②一人ひとりに思いや考えを持たせ、それを豊かに表現し、仲間と練り合わせるための指導（個に応じた指導）・・・指導・援助の手だての明確化

本単元では、物語の内容を言葉にこだわって読み、自分の考えの根拠となる言葉や文章を見つけることを大切にする活動を考えていきたいと思う。そして、見つけた言葉や文章にサイドラインを引かせ、中心となる言葉や文を提示するなど言葉に着目させる。そして、読み取ったことを仲間と話し合わせるというような学習活動を仕組んでいきたい。言葉にこだわって読むことで、根拠を持って自分の考えを持つことができ、語彙力も高まり、やがては「自分の言葉で伝えあえる子」が育つのではないかと考える。

自分の考えをある程度持って文章を読ませるため大切にしてきたことは、下記の通りである。これらを繰り返し学習することで読み取る力をつけさせたい。

- ①登場人物の気持ちをどの言葉から想像したのかということを考えさせる。  
 ・根拠となる言葉の選び方（登場人物が言ったこと、したこと、はっきりと気持ちの書いてある言葉、などから想像させる。）
- ②選んだ言葉から気持ちを想像して書かせる。（仲間と交流し合いながら）  
 ・読みとり方（線を引いたところを言い換えるとどうなるか、まとめるとどうなるかを書かせる。）

③他の教育活動の設定と指導

特に道徳の時間に、仲間自分の考えや思いをを発表することを練習してきた。毎時間45分の中で、9人が1人5回以上の発表を目指してきた。挙手、発表すること、伝え合うことの楽しさ、大切さを学ばせたいと考えている。

#### 4. 単元の目標

- シリーズの作品を中心に、いろいろな読み物に興味を持ち、進んで読むことができる。
- 松井さんの人柄や心情、場面の情景などを、叙述をもとに豊かに想像しながら読むことができる。

#### 5. 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語に関する知識・理解・技能
・楽しんで物語を読み、進んでいろいろな本を読もうとしている。	・会話や様子などを表す言葉を手がかりに、人物の心情や情景を豊かに想像している。	・「ような・ように」の例えを用いることでどんな様子を表しているかを考えている。

#### 6. 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法
1	物語を読んで感想を持ち、交流することができる。	・範読を聞いて、感想を書く。 ・感想を交流する。 ・シリーズ作品について知る。 ・単元の学習の見通しを持つ。 (場面ごとの大まかな学習課題設定)	範読を聞いて、物語に関心を持ち、自分の感じたことを表している。	・発言 ・学習プリント
2	色やにおいを表す言葉に着目して、物語を読み	色やにおいを表す言葉を見つける。	物語の中から、色やにおいを表す言葉を見つけて	・発言

3	松井さんとお客さんの会話や様子に着目して、松井さんの夏みかんに対する思いや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一場面を音読する。</li> <li>・松井さんの気持ちや人柄が分かるところに線を引き、自分の考えを書き込む。</li> <li>・読みとったことを交流する。</li> <li>・松井さんについて、わかったことをまとめる。</li> </ul>	叙述をもとに、松井さんの夏みかんに対する思いや人柄を読んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・学習プリント</li> </ul>
4 本時	松井さんの言葉や行動に着目して、松井さんの男の子に対する優しい気持ちや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二場面を音読する。</li> <li>・松井さんの気持ちや人柄が分かるところに線を引き、自分の考えを書き込む。</li> <li>・読みとったことを交流する。</li> <li>・松井さんについて、わかったことをまとめる。</li> </ul>	叙述をもとに、松井さんの男の子に対する優しい気持ちや人柄を読んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・学習プリント</li> </ul>
5	松井さんと女の子の会話や行動に着目して、松井さんの女の子に対する優しい気持ちや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三場面を音読する。</li> <li>・松井さんの気持ちや人柄が分かるところに線を引き、自分の考えを書き込む。</li> <li>・読みとったことを交流する。</li> <li>・松井さんについて、わかったことをまとめる。</li> </ul>	叙述をもとに、松井さんの女の子に対する優しい気持ちや人柄を読んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・学習プリント</li> </ul>
6	松井さんの言動や様子に着目して、声が聞こえてきたときの松井さんの気持ちや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四場面を音読する。</li> <li>・松井さんの気持ちや人柄が分かるところに線を引き、自分の考えを書き込む。</li> <li>・読みとったことを交流する。</li> <li>・松井さんについて、わかったことをまとめる。</li> </ul>	叙述をもとに、声が聞こえてきたときの松井さんの気持ちや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・学習プリント</li> </ul>
7	「ような・ように」というたとえの表現を用いることで、生み出す効果について考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の中からのたとえの表現を見つけ、どんな様子を表しているかを考え、交流する。</li> <li>・短文を作る。</li> </ul>	たとえを用いることで、どんな様子を表しているかを考えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・学習プリント</li> </ul>
8 9	自分の読みたい本を探して、楽しんで読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読みたい本を見つけて読む。</li> <li>・読書記録をつける。</li> </ul>	進んで読みたい本を探し、楽しんで読もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・カード</li> </ul>
10	紹介する本を決め、紹介カードを作ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介カードを作成する。</li> </ul>	本の楽しさが伝わるように内容をまとめたり、必要な事柄を選択している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・作品</li> </ul>
11	おもしろかった本を友達に紹介することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本を紹介する。</li> <li>・感想を交流する。</li> </ul>	友達に本の楽しさが伝わるように紹介している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表</li> </ul>

## 7. 本時のねらい

- ・松井さんの言葉や行動に着目し、松井さんの男の子に対する優しい気持ちや人柄を読むことができる。

### 【基準】

- A 叙述をもとに、松井さんの男の子に対する優しい気持ちや人柄を夏みかんにも着目して読んでいる。
- B 叙述をもとに、松井さんの男の子に対する優しい気持ちや人柄を読んでいる。
- C 松井さんの気持ちや人柄について考えようとしている。

